

第 157 回練馬区緑化委員会意見対応表

No	意見	対応
1	区が区民とともに進める姿勢を基本的考え方にしっかり入れてほしい。	P2)基本的考え方のまとめに「区民と行政がともにみどりを支える」という記述を追加した。
2	緑被率はこれからもこだわっていくのか。	P4)みどりの状態を緑被率という一つの指標だけで捉えることには無理があることから、複数の目標を設定する。 実感できるみどり 30%はわかりにくかったことから、より区民にも伝わりやすいよう、区民満足度を中心に据え、5つ設定し直した。緑視率や沿道緑化の現状は調査していないことから、調査方法も含め検討し、次回の実態調査で把握していく。
3	区民が実感できるみどり 30%がわかりにくい。次回の実態調査では、どのように対応するのか。	
4	一般区民だけではなく、事業者についても記述を入れてほしい。	P4)暮らしのみどりに事業者を追加した。
5	樹林地や農地など守るみどりに関する目標設定が必要ではないか。	P4)武蔵野の面影を伝えるみどりを守ることを追加した。
6	基本方針 2 と 3 の違いがわかりにくい。似通っているので、施策も含め再検討してほしい。	P4,5)基本方針 2 の主旨は普及啓発、情報発信、基本方針 3 の主旨は人材育成、区民の交流推進とし、表現を見直した。
7	施策の内容がわかりにくい。	P3)区民協働系に加え、行政主導系(ハード)の取組も図に加えた。 P5)施策の体系を構成しなおし、主な内容の記述を加えた。
8	みどりの機能をわかりやすく伝えてほしい。	P5)施策の体系に発揮が期待される機能を加えるとともに、施策 2-3 にみどりの機能の情報発信を入れた。
9	みどりへの関心がゼロの人に対する取組が必要ではないか。	P6)みどりへの関心をもってもらう取組、みどりのイベントへの参加等を追加した。
10	段階を追うのはよいが、既定の制度だけではなく、区民の自主性や独自の発想を活かす視点も加えてほしい。	P6)段階 3 に「区民発案の新しいイベントの実施」「区民の自由な発想による取組が広がる！」を追加した。
11	将来イメージ全体に生き物の姿を加え、様々な場所に応じた生物多様性の取組を伝えてほしい。	P8-10)生き物の誘致や在来種の活用等について追加した。

12	区民が見てわかりやすく、一緒にやっていきたいと思える計画としてほしい	概要版は、区民が手に取って読みたくなるような構成・工夫を施す予定。
13	みどりの量だけでなく、みどりの公益性や環境貢献度などに対する指標ができれば、そういったものを認証していくという取組も考えられる。	今後の実態調査では、28年4月にいただいた「みどりの豊かさを評価するための新たな手法について」の答申をふまえ、みどりの質の評価について、適切な評価ができるよう、引き続き検討を進める。
14	地域らしさや樹木以外の花や農地といった景観の評価を検討してほしい。	また、検討にあたっては、専門的な知見を有する研究機関等と連携できるよう、協力体制づくりも進める。
15	外来種や害虫から樹木を守る対策にふれてほしい	本編では、生物多様性に関する方策について独立した章を設け、具体的な取組も含めた今後の展開についてまとめる。